

## 技術提案書別紙の訂正

技術提案書別紙を下記のとおり訂正します。

平成24年11月20日

国立大学法人東北大学理事 佃良彦

1 公告日 平成24年11月16日

2 工事名 東北大学（青葉山2）総合研究棟（理学系）等新嘗その他工事

3 訂正内容

・「（別紙4）工事全般の施工計画」を追加します。

・（別紙5）を「工事全般の施工計画」とし、「3．設備（資材を含む）の品質確保の取り組みについて」を「3．建物（資材を含む）の品質確保の取り組みについて」に訂正します。

(記載要領1)

## VE提案とVE提案に基づく施工計画書

東北大学(青葉山2)総合研究棟(理学系)等新営その他工事

評価項目	① 総合的なコスト
<p>・提案内容 ライフサイクルコスト削減に関する技術提案を5項目以内で行うこと。</p> <p>【提案にあたっての留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ライフサイクルコスト削減額を提示すると共に、裏付け資料にて十分証明すること。証明が不十分と本学が判断した場合は、提案に採用しない。</li><li>・<u>ライフサイクルコスト削減が「②性能等」と重複する提案の場合は本評価項目で述べること。</u></li><li>・5項目を超える提案は加點評価の対象としない。なお、不採用となったものを除き施工の条件となる。</li><li>・計画通知等への変更を生ずる技術提案は採用出来ない場合がある。なお、変更が生ずる提案の場合は受注者の責で一切の変更手続きを行うこと。</li><li>・提案に伴う工事費の増額については、発注者は増額を行わないので受注者の責で提案すること。</li><li>・標準案は、図面、公共建築工事標準仕様書(統一基準)(建築工事編)(平成22年版)及び文部科学省建築工事標準仕様書(特記基準)(平成22年版)によるものをいう。</li></ul>	

注1 本評価項目についての提案は、(別紙1)で簡潔に記述すること。

注2 必要に応じて説明図(文章が主体となるものではないこと)を添付すること。説明図は1項目1枚以内(A4版又はA3版)とし、ページ番号を付すとともに、工事名、評価項目名を1ページ目に明記すること。

(別紙1)

## VE提案とVE提案に基づく施工計画書

東北大学（青葉山2）総合研究棟（理学系）等新営その他工事

- 東北大学（青葉山2）総合研究棟（理学系）等新営その他工事における標記の施工計画については以下のとおり提案します。本施工計画が認められた場合には、本計画書に基づき施工します。なお、認められない場合は、標準案に基づき施工します。
- 当該工事は、標準案に基づき施工します。

①総合的なコスト：ライフサイクルコスト削減に関する技術的提案		
提 案	具体的な施工計画	添付の有無
		有( 枚) ・ 無

(記載要領2)

## V E 提案と V E 提案に基づく施工計画書

東北大学(青葉山2)総合研究棟(理学系)等新営その他工事

評価項目	② 性能等
<p>・提案内容 建築物の性能等(機能、強度、耐久性等)向上に関する技術的提案を5項目以内で行うこと。</p> <p>【提案にあたっての留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・性能等の向上等について具体的な項目を提示すると共に、裏付け資料にて十分証明すること。証明が不十分と本学が判断した場合は、提案に採用しない。</li><li>・建物の機能、強度、耐久性等の性能及び意匠上の向上などの効果について述べること(ライフサイクルコストの向上は「① 総合的なコスト」で述べること。)</li><li>・5項目を超える提案は加点評価の対象としない。なお、不採用となったものを除き施工の条件となる。</li><li>・計画通知等への変更を生ずる技術提案は採用出来ない場合がある。なお、変更が生ずる提案の場合は受注者の責で一切の変更手続きを行うこと。</li><li>・提案に伴う工事費の増額については、発注者は増額を行わないので受注者の責で提案すること。</li><li>・標準案は、図面、公共建築工事標準仕様書(統一基準)(建築工事編)(平成22年版)及び文部科学省建築工事標準仕様書(特記基準)(平成22年版)によるものをいう。</li></ul>	

注1 本評価項目についての提案は、(別紙2)で簡潔に記述すること。

注2 必要に応じて説明図(文章が主体となるものではないこと)を添付すること。説明図は1項目1枚以内(A4版又はA3版)とし、ページ番号を付すとともに、工事名、評価項目名を1ページ目に明記すること。

(別紙2)

## VE提案とVE提案に基づく施工計画書

東北大学(青葉山2)総合研究棟(理学系)等新営その他工事

- 東北大学(青葉山2)総合研究棟(理学系)等新営その他工事における標記の施工計画については以下のとおり提案します。本施工計画が認められた場合には、本計画書に基づき施工します。なお、認められない場合は、標準案に基づき施工します。
- 当該工事は、標準案に基づき施工します。

②性能等：建築物の性能等（機能、強度、耐久性等）向上に関する技術的提案		
提 案	具体的な施工計画	添付の有無
		有( 枚) ・ 無

(記載要領3)

## VE提案とVE提案に基づく施工計画書

東北大学(青葉山2)総合研究棟(理学系)等新営その他工事

評価項目	③ 社会的要請
<p>・提案内容 騒音、振動等の対策やCO<sub>2</sub>削減、省資源、リサイクル等環境対策に関する技術的提案を5項目以内で行うこと。</p> <p>【提案にあたっての留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・対策によって削減される項目と数値、期待される効果などを具体的に提示すると共に、裏付け資料にて十分証明すること。証明が不十分と本学が判断した場合は、提案に採用しない。</li><li>・5項目を超える提案は加點評価の対象としない。なお、不採用となったものを除き施工の条件となる。</li><li>・提案に伴う工事費の増額については、発注者は増額を行わないので受注者の責で提案すること。</li><li>・標準案は、凶面、公共建築工事標準仕様書(統一基準)(建築工事編)(平成22年版)及び文部科学省建築工事標準仕様書(特記基準)(平成22年版)によるものをいう。</li></ul>	

注1 本評価項目についての提案は、(別紙3)で簡潔に記述すること。

注2 必要に応じて説明図(文章が主体となるものではないこと)を添付すること。説明図は1項目1枚以内(A4版又はA3版)とし、ページ番号を付すとともに、工事名、評価項目名を1ページ目に明記すること。

(別紙3)

## VE提案とVE提案に基づく施工計画書

東北大学(青葉山2)総合研究棟(理学系)等新営その他工事

- 東北大学(青葉山2)総合研究棟(理学系)等新営その他工事における標記の施工計画については以下のとおり提案します。本施工計画が認められた場合には、本計画書に基づき施工します。なお、認められない場合は、標準案に基づき施工します。
- 当該工事は、標準案に基づき施工します。

CO <sub>2</sub> 削減、省資源、リサイクル等環境対策		
提 案	具体的な施工計画	添付の有無
		有( 枚) ・ 無

(別紙4)

## 工事全般の施工計画①

東北大学（青葉山2）総合研究棟（理学系）等新営その他工事

### 免震構造に関する施工計画

・提案内容

免震構造の性能を確保する取組みについて、技術的な提案を求める。

【提案にあたっての留意点】

- ・本計画は必ず提案すること。（未提出は欠格とする。）
- ・方策やその効果を具体的に提示すること。証明が不十分と本学が判断した場合は、加  
点評価をしない。
- ・提案に伴う工事費の増額については、発注者は増額を行わないので受注者の責で提案  
すること。

注1 1ページ以内(A4版)で簡潔に記述すること。

注2 必要に応じて工程表や説明図（文章が主体となるものではないこと）を添付すること。添付物は1枚以内（A4版又はA3版）とし工事名及び事項名を明記すること。

(別紙5)

## 工事全般の施工計画②

東北大学（青葉山2）総合研究棟（理学系）等新営その他工事

### 工事全般の施工計画（①の内容以外の提案）

#### ・提案内容

工事全般において施工上考慮すべき事項等として、下記事項における技術的所見を求める。

1. 工事中の工程管理（工期短縮を含む）について
2. 現場状況を踏まえた安全対策や支障防止策について
3. 建物（資材を含む）の品質確保の取り組みについて

#### 【提案にあたっての留意点】

- ・全ての事項を提案すること。（未提出及び事項の欠落は欠格とする。）
- ・方策やその効果を具体的に提示すること。証明が不十分と本学が判断した場合は、加點評価をしない。
- ・提案に伴う工事費の増額については、発注者は増額を行わないので受注者の責で提案すること。

注1 1事項1ページ以内(A4版)で簡潔に記述すること。

注2 必要に応じて工程表や説明図（文章が主体となるものではないこと）を添付すること。添付物は1事項1枚以内（A4版又はA3版）とし工事名及び事項名を明記すること。